

Aru Shah and The End of Time

- 和訳出版にむけて -

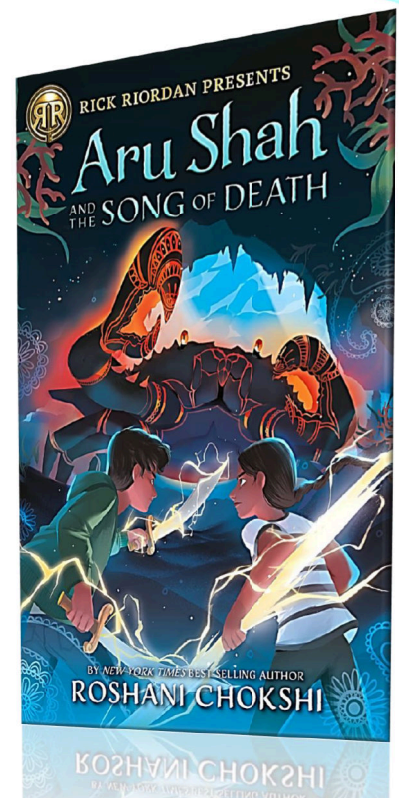


Aru Shah (Pandava) Series

Roshani Chokshi

Aru Shahシリーズ
(別名Pandavaシリーズ)は、
アメリカ在住の作家
Roshani Chokshiによる、
児童むけファンタジー小説。
インドの叙事詩
「マハーバーラタ」
を題材にしている。

2018年3月に第1巻が刊行。
2019年4月に第2巻が刊行予定。



Rick Riordan Presents

<http://rickriordan.com/rick-riordan-presents/>

Aru Shahシリーズは、Rick Riordan Presentsの作品の一角。

Rick Riordan Presentsは、ディズニーから刊行されている一種のレーベルであり、
「あまり表舞台に現れていない文化背景を持つ、中堅作家たちの作品を出版して、
作家たちが受け継いだ神話・伝説に象徴される特別な物語を、世に伝えること」を
刊行の目的としている。

(参考：<http://rickriordan.com/2017/04/rick-riordan-presents/>)

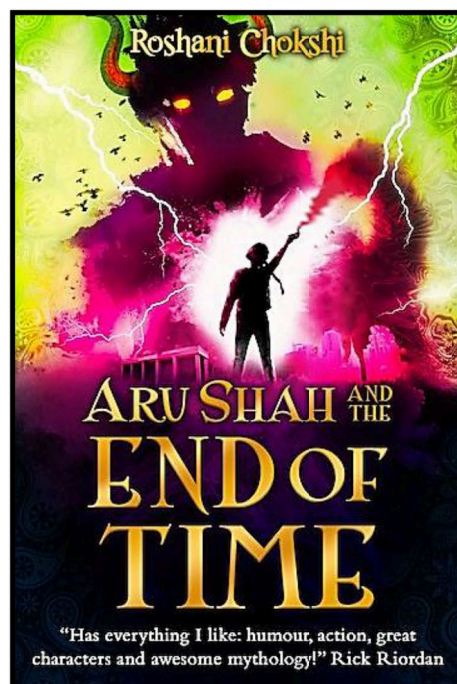
Rick Riordanは、有名な『パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々』の作者だが、
個々の作品は個々の作者のオリジナルであり、Rick Riordanが原案ではない。

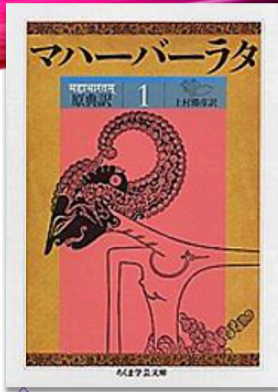


Aru Shah and The End of Time

<https://roshanichokshi.com/books/aru-shah-and-the-end-of-time/>

アル・シャーは、クラスメイトに馴染みたくて、つい法螺を吹いてしま
う癖のある、12歳の女の子。考古学者にして博物館長、シングルマザー
の母は忙しく、アルは寂しさのあまり、人の気を惹きたくて、法螺を吹
いてしまうのだ。博物館にある、恐ろしい呪いのランプ。クラスメイト
に呪いの実在を疑われて、嘸し立てられたアルは、つい勢いでランプに
灯を点してしまう。だがその途端、ランプに封じられていた悪魔「眠れ
る者」が、縛めを解かれ、世界の時空が凍り付いてしまう。アルは、愛
する母を凍り付いた時空から救うため、試練を乗り越えて眠れる者に立
ち向かう。マハーバーラタの主人公たるパーンダヴァ五王子。「眠れる
者」が封印を解かれる度、彼らの化身が危機を止めてきた……アルが今
世における化身の一人なのだ。パーンダヴァ五王子の生まれ変わりが、
「眠れる者」のもたらず破滅を止めなければならない。——だが、スパ
イダーマンのパジャマを着た女の子に、そんな大いなる使命を果たすこ
とができるのだろうか？





対象者層①

「マハーバーラタ」
「ラーマヤナ」など
インドの神話・伝説の愛好者



対象者層②

「ディズニープリンセス」
「プリキュア」など
ヒロイン活劇物の愛好者



対象者層③

「バーバリ」
各種ゲームなどから
インド神話に興味を持った層

ファンタジー児童書の愛好者への アピールポイント

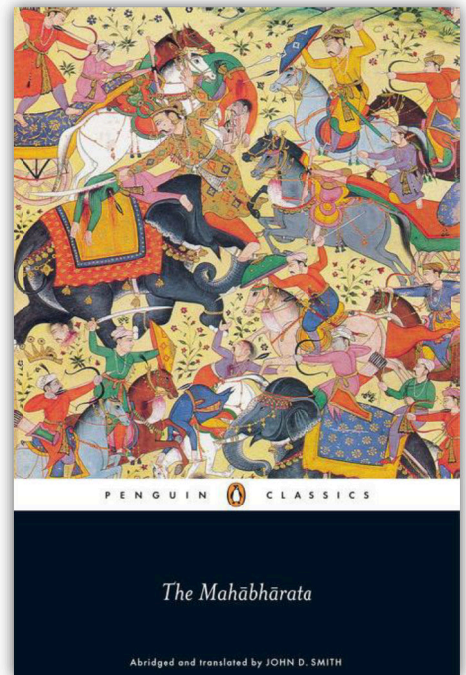
- ◆ 現代世界と神話世界が入り交じる、いわゆる「ロー・ファンタジー」であり、異国の神話が題材だが、比較的馴染みやすい。
- ◆ (主人公は映画を観ることが好きらしく) 実在する作品と、作中の状況を引き合いにしたジョークが、ふんだんに織り込まれている。
- ◆ 既存の作品のように、主人公の出生の秘密、強大な宿敵との間の深い因縁、一見して超人的な力のない主人公…という王道パターン。



インドの神話・伝説の愛好者への アピールポイント

題材「マハーバーラタ」の特色を、現代ファンタジー世界の舞台で、巧みに活かしている。

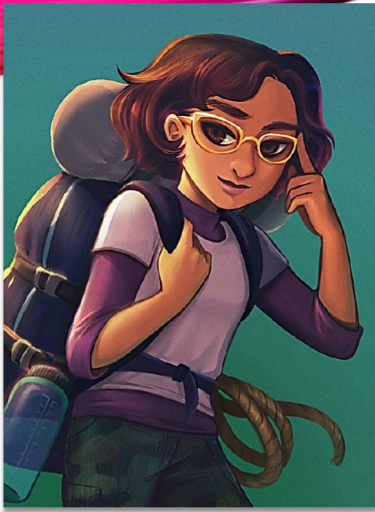
- ◆ 同一の人物が、善と悪の間を揺れ動く、二律背反な苦悩と試練。主要人物のほとんどがこの苦悩と宿命を抱えている。
- ◆ 「マハーバーラタ」自体、神々が人間に「化身」（分身）するという設定があるため、現代を舞台にしても比較的自然的。
- ◆ 神々の試練を乗り越えて、武器を獲得していくという、普遍的な冒険譚・成長譚。大人も子供も楽しみやすい展開。



ヒロイン活劇物の愛好者への アピールポイント

- ◆ マハーバーラタの主人公たるパーンダヴァ五王子が、五人の姉妹として登場することが示唆されている。現時点で5人中2人が登場しているが、新しいヒロインが登場する楽しみがある。
- ◆ 五人の姉妹の登場が予想されているが、パーンダヴァ五王子に隠された生き別れの兄がいるため、いわゆる「追加戦士」の可能性も…？
- ◆ 主要キャラである鳩の姿のお助けキャラ「ブー」は、自ら「魔法のお助けキャラ」（「サイドキック」、「コミックリリーフ」）を称している。





ミニ

-最初の仲間-

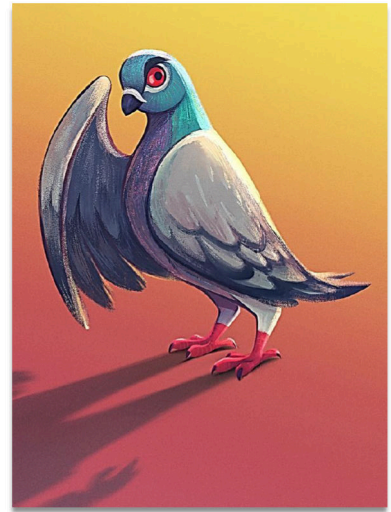
潔癖な医者志望⇄死の神（閻魔）の娘
「告口屋」⇄正義感



アル

-主人公-

寂しがり屋⇄母と子の愛
ホラ吹き癖⇄想像力



ブー

-サイドキック、お助けキャラ-

主人公たちの導き手
神話の因縁、善と悪の狭間

総括

◆ 意義


- 既存の作品にカバーされていない、あまり表舞台に現れていない文化を題材にして、人々に知ってもらおう
- 人間の宿命、善か悪か、自ら変わることができるのか—という、普遍的なテーマ
- 現代アメリカを舞台にして、いわゆるマイノリティ（母子家庭、異国の文化）の受ける苦悩を、丁寧かつ自然に取り扱っている。

◆ 魅力

- 登場人物がキュート。実在の作品をネタにした、「漫才」のようなやりとり。シリアスとジョークのバランスもよい。
- インド神話の題材をふんだんに取り上げていて、知らない人は知る切っ掛けになり、知っている人は「ニヤツ」とできる。

◆ 展望

- ディズニー社のレーベル「Rick Riordan Presents」に組み込まれている。また、パラマウント社が、映画化の権利を落札した模様。
- 近日中に第2巻が発売される予定。作中に伏線が多数暗示されており、先の展開を予測する楽しみがある。第2巻に登場する予定のBrynne、Aidenというキャラクターの正体など…



Aru Shah and The End of Time

- 和訳出版にむけて -